

周南市美術博物館
開館30周年記念

18歳以下
無料

写真展 オードリー・ヘプバーン

AUDREY HEPBURN

2025 8.31 SUN まで開催中 9:30～17:00 (入館は16:30まで)

観覧料 一般:1,200円(1,000円) 大学生:1,000円(800円) 月曜休館 ただし8月11日(月・祝)開館、翌12日(火)休館

* () 内は前売および20名以上の団体 * 本展をご鑑賞の際は、常設展も無料でご覧いただけます

* 身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、戦傷病者手帳等をご持参の方とその介護の方は無料

見どころ

本展は「ファッション」「映画」「プライベート」の3つのテーマで、写真170点を紹介する見応えのある内容となっています。1階展示室では、彼女が出演した映画音楽とともに作品をご覧いただくことができます。時代を超えて輝き続けるオードリーの魅力をお楽しみください。

ファッション



展示風景

170cmという身長、長い首そして大きな足。オードリーにはいくつかコンプレックスがありました。しかし彼女は「ファッション」という魔法を使って、それらを魅力に変えたのです。例えば首元がゆったりしたタートルネックのコートは、オードリーの長い首をとても魅力的に見せました。会場ではさまざまな角度からのショットが並び、オードリーのファッションを細やかに見ることができます。シンプルでエレガントな着こなしや、帽子やスカーフといった小物使いなど、その装いは現代でも参考にすることができます。

『ローマの休日』(1953年)、『麗しのサブリナ』(1954年)、『ティファニーで朝食を』(1961年)など数々の名作に出演したオードリーですが、本展ではそれらの広報用写真だけでなく、デビュー間もない頃の写真、撮影の合間に共演者とリラックスして過ごす時間やメイク中の様子など、スクリーンでは見られないオードリーの素顔をたくさん紹介しています。

映画



展示風景

プライベート



展示風景

2階の展示室ではオードリーのプライベート写真も展示しています。動物が大好きだったオードリーは映画『緑の館』(1959年)に出演した子鹿のイブや、愛犬のミスター・フェイマスと自宅で一緒に暮らしていました。会場では彼らとくつろぐ写真をご覧いただけます。また息子ショーンが1歳の時のバースデー・パーティなど、母親としてのオードリーが見られる貴重なショットもあります。

1950年代当時ハリウッドで活躍していたグラマラスな女優とは全く異なる印象のオードリーは、映画界に衝撃を与えました。気品に満ちた美しさと知性、そして天真爛漫な笑顔。世界中がとりこになった魅力溢れるオードリーにこの夏、会いに来てみませんか。

(周南市美術博物館 学芸員 今井良枝)

←オードリー展の「グッズ・書籍紹介」は次ページをご覧ください

美術博物館ホームページはこちら



ご鑑賞の
記念に
いかがですか

写真展 オードリー・ヘプバーン AUDREY HEPBURN

グッズ・書籍紹介



クッションカバー
各5,148円(45cm×45cm)



エコバッグ 2,585円



ポーチ
・1,430円(Sサイズ)
・1,980円(Mサイズ)



ノート
・各572円(モノクロ表紙)
・各638円(カラー表紙)



レシート入れ
495円
(大・小セット)

書籍



①

オードリーの
生涯を知るには
この一冊



②



ロール付箋 715円

オードリーの信念
ある生き方を
写真を通して
紹介



③



④

オードリーの
出演した映画
20作品を中心に
舞台裏のスナッフ
なども掲載

- ①写真集『オードリー・ヘプバーン』 2,420円
- ②評伝『オードリー・ヘプバーン 彼女の素顔がここに』 1,650円
- ③写真集『オードリー・スタイル 飾らない生き方』 2,420円
- ④写真集『オードリー・イン・シネマ』 2,750円

※表示価格はすべて税込です ※売切れの際にはご了承ください

カフェテラスまど 展覧会 夏の限定メニュー



ご観覧の後に
カフェでほっと一息
いかがですか

- マイ・フェア・ストロベリー
～いちごミルクスムージー～ 500円(税込)
- アイスの休日～ミニアイス～ 300円(税込)

LAWSON

ローソンの
ソフト
クリーム

各246円(税込)

ローソン徳山動物園前店 0834 32-8363

※画像はイメージです。

美博クイズ～!〈139〉 もんだい

1988年、オードリー・ヘプバーンは
〇〇〇〇の特別親善大使に任命さ
れたよ。
〇に入る名称はなんだろう?

周南市美術博物館 常設展示

展示室 4 林忠彦記念室

カストリ時代 —復員・戦後混乱期を生きる人々— 9/30(火)まで

戦後80年にちなんだ「カストリ時代」シリーズより、復員・引揚げの様子や戦後の混乱期を生きる人々の姿を捉えた作品を中心に展示しています。

戦争で親が亡くなった戦災孤児の中には、住むところがなく、駅や公園、地下道やガード下などで暮らす子どももいました。生き延びるため、靴磨きや見世物、新聞売りなどをしていました。あるとき、子どもが自分の食べる物も十分でない状況で犬に食べ物を分け与えている姿を見た林は、「こういう優しさをもらった子どもがいれば将来の日本はまだ大丈夫だ」と感じたそうです。



「犬を食う子供たち」〈参謀本部跡 三宅坂〉
1946年 撮影 林忠彦

びびびの美(2025年7月前半号)
こちらから展示内容の紹介を
ご覧いただけます。



展示室 5 まど・みちおコーナー

今回の内容の展示は9/30(火)まで

まどさんは、50歳代初めの3年間に集中して抽象画を描きました。

この時期の抽象画の7割に、この作品のように描いた日の日付もしくは年と月が記されています。

この絵を描いた1961年8月は、1か月のうちに、わかるものだけでも14点もの作品を制作しています。ちなみに、この8月16日には、もう1枚別の作品も描いています。まどさんの絵画制作への没頭ぶりがうかがえます。



「タイトルなし」(未完)
1961年8月16日
クレヨン、水彩、ボールペン・紙

徳山の歴史 特設コーナー

「徳山空襲と戦後の復興」 8/31(日)まで

戦後80年を迎え、徳山空襲と戦後の復興のあゆみを写真などから振り返ります。

展示室中央の展示ケースでは、復興を記念して昭和23年に開催された徳山大博覧会にまつわる資料も紹介しています。

戦争体験者4名へのインタビュー映像も展示室内で放映しています。あわせてご覧ください。

びびびの美(2025年5月後半号)
こちらから展示内容の
紹介をご覧いただけます。



【第23回 周南市美術展2025】作品募集

美術展に出品してみませんか？平面・立体・書・写真の作品を募集しています！

事前申し込みが必要です。作品の搬入・搬出が日時指定となります。

●申込期間 8月29日(金)必着 事前申込

●開催要項の配布場所

市役所本庁舎、各総合支所、各市民センター、
学び・交流プラザ、新南陽ふれあいセンター、文化会館、
美術博物館 等

周南市ホームページからもダウンロードできます

<https://www.city.shunan.lg.jp/soshiki/107/117321.html>

●応募方法 3つの方法があります

①ホームページから申し込む

周南市ホームページの「第23回周南市美術展2025」出品申込フォームに必要事項を入力して送信してください。

②郵送またはFAXで申し込む

開催要項に付属の出品申込書及び応募部門のデータ票を記入し、郵送またはFAXでお送りください。
郵送先／〒745-8655 周南市岐山通1丁目1番地
周南市文化振興課文化振興担当宛

FAX／0834-22-8428(文化振興課)



市ホームページ



出品申込フォーム

③持参する

開催要項に付属の出品申込書及び応募部門のデータ票を記入し、市役所の文化振興課または周南市美術博物館に持参してください。

※開庁、開館時間内をお願いします。※その他の応募方法については、文化振興課へお電話でご相談ください。

●作品搬入 10月3日(金)・4日(土)

申込期間終了後、指定日時を文書で連絡します。

指定の日時に搬入してください。

●作品搬出 搬出についても日時を指定させていただきます。

●審査会 10月5日(日)に公開審査を行い、入選作品と各賞を決定します。
見学申込の詳細については、第23回周南市美術展2025公開審査会の見学募集ページ(後日公開予定)に掲載します。

●会期 前期【書・写真】 10月15日(水)～19日(日)

後期【平面・立体】 10月22日(水)～26日(日)

※月曜休館

●問合せ先 文化振興課(文化振興担当) TEL／0834-22-8622

※最新情報は、市と美術博物館のホームページでご確認ください。

※出品資格、応募企画、出品料等詳細は開催要項をご確認ください。

美博クイズ〜!〈139〉 こたえ

ユニセフだよ

ユニセフは、国際連合の中にある機関のひとつで、世界中の子どもたちの命とくらしを守るための活動をしているよ。オードリーは数多くの地域を訪れて飢えた子どもたちに会い、世界各国で子どもたちの現状を訴え続けたんだ。

事務用品 スチール製品 ゴム印

伊藤文具店

〒745-0036 山口県周南市本町1-33
TEL(0834)22-0400 FAX(0834)22-0401

ART and HISTORY インフォメーション

周南

周南市美術博物館 ☎0834-22-8880

周南市美術博物館開館30周年記念
写真展「オードリー・ヘプバーン」
～8/31(日)

周南市郷土美術資料館 ☎0834-62-3119

企画展「郷美のコレクション展」
～8/24(日)

尾崎正章常設展「あの日の海」～8/31(日)

富田幼稚園 作品展 ～8/3(日)

こもれび保育園 作品展 8/6(水)～31(日)

防府

毛利博物館 ☎0835-22-0001

企画展「毛利家のたからもの-その1・
漆かがやく 武具・馬具・調度品-」
～9/8(月)

山口

山口県立美術館 ☎083-925-7788

岩合光昭 写真展 PANTANAL /
THE CATS ねこ科 ～9/7(日)

萩

山口県立萩美術館・浦上記念館 ☎0838-24-2400

躍動するアジア陶磁
一町田市立博物館所蔵の名品から～
～9/23(火・祝)

萩博物館 ☎0838-25-6447

夏期特別展「絶滅動物展」～9/21(日)

長門

香月泰男美術館 ☎0837-43-2500

戦後80年 香月泰男
戦争の記憶・私の地球 /
特別展示「香月泰男のシベリヤ・シリーズ」
～9/28(日)

下関

下関市立美術館 ☎083-245-4131

所蔵品展No.168
特集 美術館の夏休み～造形あそび～
～8/31(日)

下関市立歴史博物館 ☎083-241-1080

企画展「元清と輝元」～9/15(月・祝)

～TOSOH PARK 永源山の中にある美術館～

周南市郷土美術資料館・尾崎正章記念館

- 9時30分～17時(入館は16時30分まで)
- 観覧料: 一般200円(160円) 学生等100円(80円)

()内は20名以上の団体 ※18歳以下および70歳以上無料

※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、戦傷病者手帳等をご持参の方とその介護の方は無料

- 休館日: 月曜日 ※ただし、8/11は開館、翌8/12は休館
※8/2はサンフェスタしんなんよう花火大会のため休館、
2日が雨天の場合は翌3日も休館



企画展

中・小展示室

郷美のコレクション展

8月24日(日)まで開催中

当館のコレクションの中から、尾崎正章が60年にわたり活躍した一水会※ゆかりの画家たちの作品を紹介しています。

小川游、寺井力三郎、平野敏子、岩池和代ら4人の画家の個性豊かな作品世界をお楽しみください。

※有島生馬や安井曾太郎によって、1936(昭和11)年に創立された美術団体



展示風景



展示風景

常設展

大展示室

尾崎正章常設展「あの日の海」

8月31日(日)まで開催中

海の近くで育った尾崎正章(1912-2001)は、瀬戸内の海を数多く描きました。それらは尾崎ならではの青や白の色調で描かれ、どこか懐かしい遠い日を思い起こさせます。画家がみつめたふるさとの海の風景をご覧ください。

展示風景



最新の情報は、当館ホームページでご確認ください。http://s-bunka.jp/kyoubi/



さて、8月に文化会館では、5年ぶりとなる吹奏楽の中国大会が行われます。大ホールは大会前日まで毎日のように練習予定が入っており、とても賑やかです。また、さにお祭り騒ぎです！舞台職員をはじめ、事務所職員も大会に参加される皆さんが力を発揮できるようにしっかりと受入準備を行います。この夏、文化会館での体験が色褪せることなく、いつまでも心に残りますように。

(綿引)

ミニコラム
ガス燈

夏の風物詩と
言えば夏祭り
ですね！皆さん
今年夏祭りに行
かれましたか？私
はこの8月に引
越しをするこ
もあり、連日準備
が忙しく今年はまだ行けていま
せん。ですが、引越先でタイミ
ング良く地域の夏祭りが開催さ
れるとのこと、今からとても楽
しみにしています。

青森の「ねぶた祭り」をご存じ
でしょうか。ねぶた祭りは東北
三大夏祭りのひとつとして毎年
8月2日～7日の間に開催され
ており、全国から200万人以
上が訪れているそうです。数年
前に私も一念発起して行ったこ
とがあります。私は最終日の屋
の部の観覧でしたが、大型
ねぶたの迫力・力強くも繊細な
意匠に大変感動させられたこと
を今でも覚えています。一生に一
度は「生」でねぶた祭りを見た
い！と思っていたので、当時1歳
前の娘を連れての日本縦断大移
動でしたが、思い切った行動して
良かったなと心から思います。時
折写真や動画を見返しては、当
時の雰囲気を感じ出し、楽しい
気持ちになるのです。